

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康推進課長 山崎一幸	電話番号	0852-22-5248
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	肝炎医療費助成事業		
目的	(1) 対象	B型・C型ウイルス性肝炎患者	
	(2) 意図	抗ウイルス治療に係る医療費負担を軽減し、早期受診・早期治療を促して肝硬変、肝がんの予防やウイルス感染を防止する。	
事業概要	○助成内容…所得に応じ自己負担上限額（月額10,000円又は20,000円）を定め、その額を超えた医療費について助成		
	○対象となる治療	<ul style="list-style-type: none"> ◆インターフェロン治療・・・治療期間：24週～48週（週1回の注射による治療（飲み薬を併用する場合もある）） ◆インターフェロンフリー治療・・・治療期間：12週～24週（2種類の飲み薬による治療） ◆核酸アナログ製剤治療・・・治療期間：48週（飲み薬による治療（治療期間の更新が可能）） 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 肝炎治療費助成者数	目標値		1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	人
		取組目標値						
	式・定義 肝炎治療受給者証を交付した者の数	実績値	1,579.0	1,150.0				
		達成率	-	115.0	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	134,804	187,517
うち一般財源 (千円)	29,320	94,824

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○平成28年度医療費助成者数（延べ1,150人）

- ・インターフェロン治療 5人
- ・インターフェロンフリー治療 367人
- ・核酸アナログ製剤治療（新規） 74人
- ・核酸アナログ製剤治療（更新） 704人

6. 成果があったこと（改善されたこと）

治療効果の高い薬や、副作用の少ない薬の登場により、年々治療が受けやすくなっている。平成28年度も制度改正（対象拡大）があったが、早めの情報収集により、遅滞なく県の要綱改正等ができ、円滑に事業執行ができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ・年度途中で国の制度改正（対象拡大）が頻繁に行われるため、その都度短期間で予算への影響を把握し、県の要綱改正、医療機関等への周知を行う必要がある。
 - ・患者団体等から、肝炎から肝硬変や肝がんに進行した場合の医療費助成についての要望がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・治療法の進歩が目覚ましく、新薬に関する情報が直前まで把握できない。
 - ・肝炎から肝硬変や肝がんに進行した場合、国の医療費助成の対象となっていない。
- ③原因を解消するための「課題」
- ・必要な情報を素早く収集するため、国や医療機関、製薬会社等との連携を密にする。
 - ・国における肝硬変、肝がん患者への医療費助成の方向性の把握。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国の制度拡大の方向性を注視し、新薬の情報など必要な情報を早めに提供いただくよう引き続き依頼していくとともに、県内の専門医や製薬会社等からの早めの情報収集に努め、国の制度改正に遅れることなく県の要綱の改正、予算措置、医療機関への周知等を行うことができるようにする。